



団体名	事業内容
江井ヶ島 漁業協同組合	<p>[豊かな海を守る海上清掃及び廃フロートの再資源化]</p> <p>海洋プラスチックごみや廃フロート(浮き)問題を解決するため、海上清掃や燃料ペレットの生産(廃フロートの再資源化実証実験)に取り組みます(9~10月を予定)。また、市内小学校への環境教育も実施します。</p>
NPO 法人 みつくす	<p>[持続可能な地域づくり ステップ1]</p> <p>子どもの成長に伴い廃棄される絵本やおもちゃを回収し、小さな図書室を開設します。この図書室では、絵本のクリーニングや補修に子どもたちが関わり、物の大切さや環境について考える場とします。また、小学生と高校生ボランティアが協力して、近隣の公園マップを多言語で作成し、外国籍世帯へも含め、地域へ遊び場の情報を発信します。</p>
明石工業 高等専門学校	<p>[地域内の生物系有機物循環と緑のまちづくり]</p> <p>地域の公園で大量に発生する剪定枝、雑草・落葉及びかいぼりで駆除されたミシシippアカミミガメなどを堆肥化し、地域の花壇や小学校の学習菜園に供給する仕組みを作るとともに、堆肥の作り方ワークショップを開催し、生物系有機物の循環及び緑のまちづくりを進めます。</p>
明石市立 松が丘小学校	<p>[ホタルプロジェクト]</p> <p>コロナ禍で地域の交流が激減するなかでも、「ふるさと松が丘にホタルを飛ばそう」という企画を継続しており(現在6年目)、今年は地域の方々を招いた「ホタル観賞会」を3年ぶりに実施しました。助成金を活用して中庭の環境を整え、ホタルの自生を目指します。</p>
あかし パラスポネット	<p>[パラスポーツによるインクルーシブなまちづくり事業]</p> <p>東京2020パラリンピックでの障害スポーツへの理解の高まりを一過性のものとしないう、パラスポーツ体験会や障害者とのスポーツ交流を企画・開催し、共生社会作りを推進します。</p>
海と空の 約束プロジェクト	<p>[幼児教育 応援事業]</p> <p>現在、幼児がSDGsを学ぶ機会が少なく、家庭や地域で学べる教材や資料も少ないため、教材(動画・冊子)の開発や指導者養成研修会を開催し、子どもから家庭へ、家庭から地域へSDGsを広げて行きます。</p>
Casa そら	<p>[水と緑かがやく明石の里山*しごせんのもりを次世代につなぐプロジェクト]</p> <p>子どもを対象とした里山での自然体験活動や、持続可能な森づくり等の実践活動、木洩れ日フェスティバル(イベント)を通じて、里山の価値を市民に伝え、次世代に繋いで行きます(9~10月実施予定)。</p>

<p>NPO 法人 多文化センター まんまるあかし</p>	<p>[外国人住民を情報弱者にしないための地域密着型多言語情報発信事業]</p> <p>外国人住民に対する地域の情報発信が十分ではなく、生活に不安を抱えている方が多いため、多言語情報発信のプラットフォームを構築し、「広報あかし」などに掲載される外国人が必要な情報を、早く正しく発信し、安心な暮らしや地域社会への参画に繋げていきます。</p>
<p>NPO 法人 ウエルネスハート</p>	<p>[「コミュニケーションカード」からはじまる地域と人をつなぐ防災、災害にも強い地域コミュニティづくりチャレンジ事業]</p> <p>2019 年度から「障害当事者が考える防災、災害時について」をテーマに意見交換会を開催し、主に災害時に最低限伝えておきたい疾患や障害の状況等を記した「コミュニケーションカード～緊急時わたしについて～」を作成しています。今年度はモニター地域での活動を通じて、地域と人をつなぐ防災、災害にも強いコミュニティづくりのツールとして完成させます。</p>
<p>メルとモノサシ</p>	<p>[エシカルブランドの思いに触れるマルシェ]</p> <p>エシカルブランドの作り手がブース出展するイベントを開催し、購買活動を通じた社会貢献を体験する機会を設けることで、エシカル消費(地域の雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費活動)への理解と実践を促進します。</p>
<p>社会福祉法人 明桜会</p>	<p>[SDGs 啓発イベント「トゥギャザー☆フェス」の開催]</p> <p>障害のある人も障害のない人も一緒に参加できる SDGs 啓発イベント「トゥギャザー☆フェス」を開催します(11月(予定))。SDGsを楽しく学ぶことはもちろん、企画段階から地域住民を巻き込み、それぞれの得意分野を生かして参加できるようにし、障害当事者と地域住民との交流も促進します。</p>
<p>株式会社 rhizome care</p>	<p>[精神疾患や障害があっても地域で過ごせるように援助する事業]</p> <p>発達障害を持つ子どもの親が気軽に相談できる『凸凹カフェ』や、不登校児が集う『てつがくカフェ』を開催します(双方とも月1回程度)。また、地域住民がメンタルヘルスを学ぶ機会を設け、精神疾患の予防・早期発見につなげていきます。</p>
<p>和坂かにっこ食堂 ボランティアグループ</p>	<p>[こども食堂 SDGs 勉強会]</p> <p>こども食堂に集う子どもたちと運営スタッフで、環境問題などをテーマにSDGsに関する勉強会を行います。また、テイクアウト用に環境にやさしいお弁当箱を購入・使用するとともに、手作りしたお弁当袋を使用することで、プラスチックごみを削減していきます。</p>

<p>鳥羽青年會 ・屋台保存会</p>	<p>[海ガメプロジェクト]</p> <p>林崎松江海岸では、バーベキュー等でにぎわう一方、使用した炭等のゴミが海岸や海を汚すこともあるため、月1回海岸清掃を実施します。また、看板の設置や SNS での情報発信を行うことで、ゴミの持ち帰りを促し、海ガメが産卵に還ってくる美しい海岸を取り戻し、明石の魅力向上に努めます。</p>
<p>Bakery802</p>	<p>[BAKERY802]</p> <p>夏に水揚げされるタイは、水温差で弱ったり死んだりして廃棄されることが多く、また、タコや小エビもサイズによっては商品価値が下がり、廃棄されることがあります。廃棄されるこれらのものをパン等に加工し、フードロスを削減するとともに、明石の漁業を応援していきます。また、こども食堂での出前講座及び試食会も実施し、次世代への啓発にも努めます。</p>
<p>株式会社 フロッグハウス</p>	<p>[団地カエル in 明舞団地]</p> <p>様々な媒体を使いながら、空き家化、高齢化、老朽化が進む明舞団地のリノベーション物件に関する情報発信を積極的に行い、広く希望者を募り、宿泊体験を実施します。それにより、団地のイメージを刷新し、若年層の転入を促進し、団地の再生と次世代への継承へとつなげていきます。</p>
<p>ハリテージ明石</p>	<p>[明石ハリテージマップの日本語版と英語版の Web サイトの構築]</p> <p>明石の歴史・文化について、市民の理解を深めるとともに観光に生かすため、これまで発行してきた「まち歩きマップ」にバリアフリー情報等を盛り込み、英語版(将来的には多言語対応)も含めて、明石高専との連携のもと、WEB コンテンツ化し、国内外に発信していきます。</p>